支笏洞爺ニセコルート　《ウェルカム北海道エリア》

SW－1

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

453・530（ﾖｺﾞｻﾝ･ｺﾞﾐｾﾞﾛ）キャンペーンin支笏湖

【概　　要】453（ヨゴサン）キャンペーンは、春の5月30日（ゴミゼロ）と秋の9月30日前後の紅葉シーズン前に、支笏湖温泉駐車場付近から丸山分岐までの国道453号のゴミ拾いを行います。早朝の支笏湖で綺麗な空気を吸いながらの清掃活動です。平成16年に開始し今年で１９年目の活動です。活動当初は50名程だった参加者も企業や団体等のボランティア参加が少しづつ増え、近年は100名を越える活動規模となっています。また、地元の支笏湖小学校の児童の園地清掃と日付をあわせ開催しています。令和４年度は、悪天候により、秋の活動は中止となりましたが、春の活動では「秀逸な道」区間を含む清掃活動を実施しました。

【日　　時】令和４年5月30日（月）6:30～7:30　※10月4日（火） 天候不良にて中止

【場　　所】（集合）千歳市支笏湖温泉街 支笏湖駐車場（バスターミナル）前
（実施場所）国道453号支笏湖温泉～苫小牧市丸山分岐（全長約4.5km）

【主　　催】支笏湖まちづくり機構Neoステージ

【協　　力】一般社団法人国立公園支笏湖運営協議会／支笏湖自治振興会／支笏湖温泉旅館組合／支笏湖畔クラブ／
支笏湖恵岳会／自然公園財団支笏湖支部／千歳市／環境省支笏洞爺国立公園管理事務所／
北海道開発局札幌開発建設部

【参加人数】春：１２０名



開会式



秀逸な道区間の駐車帯



国道453号の清掃活動



閉会式と収集したゴミ

支笏洞爺ニセコルート　《ウェルカム北海道エリア》

SW－2

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

かわたび × シーニック　RIVER CLEAN DAY in Chitose river

【概　　要】2022年のテーマは「私にできること。」支笏湖から流れ出す豊かな生態系を保有する千歳川。街の中心を流れるこの流域は千歳市民には無くてはならぬ存在です。2021年より市民参加型イベントとして、「千歳川リバークリーンデイ」としてカヌー等を使用した水辺での清掃活動を開始。2022年は新たに「陸でもリバークリーンデイ」を加え、2度の水辺の清掃を実施しました。

【日　　時】令和４年5月17日（日）、9月23日（金）／【場　　所】千歳川

【主　　催】一般社団法人かのあ（一般社団法人国立公園支笏湖運営協議会）

【参加人数】４１名

＼ RIVER CLEAN DAY ／
活動の動画

一般財団法人 石狩川振興財団　千歳市　かわたび ぼっかいどう　一般社団法人 千歳観光連盟

ATC　土門 哲也　Ocean Days Hokkaido Diving Shop　PADI　秀岳荘















支笏洞爺ニセコルート　《ウェルカム北海道エリア》

SW－3

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

千歳ウエルカム花ロードver.２０

【概　　要】年間約2000万人の乗降客を有する新千歳空港。北海道を訪れた方々を花の道で歓迎し、子ども達におもてなしの心を育もうと、千歳ウエルカム花ロードの活動を行っています。平成15年、千歳青年会議所の発案により「千歳エアポート花ロード３６」がスタート。平成１９年、国・道・自治体による「千歳ウエルカム花ロード」と事業統合。実行委員会を組織し活動を継続しています。 令和４年は、3年ぶりに小学生や一般の方々も一緒に、総延長 7.45kmを植栽。ガーデンフェスタ 2022 のメイン会場とサンフィニティ、桃色吐息の花苗をあわせ、おもてなしの沿道を演出しました。また、協賛金やクラウドファンディングなど多くの皆様にご協力をいただき新千歳空港周辺の道を彩りました。

【日　　時】①土起こし：５月17日　②花植え：IC:5月24日、道道:5月10日～24日、
国道ＡＢCエリア:5月24日　※同日花ロード特別授業（緑小学校、千歳小学校）
③除草：6月28 日、7月12 日、26 日、9月6日、④花苗の撤去：10月18日

【場　　所】千歳市（JR南千歳駅前国道36号周辺、ＪＲ千歳駅前、道道千歳インター線、道道新千歳空港インター線、道央道千歳ＩＣ料金所周辺、新千歳空港構内道路ほか）

【主　　催】千歳ウェルカム花ロード実行委員会

【参加人数】①８３名　②５５４名　③200名　④52名





ガーデンフェスタ2022
メイン会場▶



土起こし



花植え



除草



花苗の撤去

支笏洞爺ニセコルート　《ウエルカム北海道エリア》

SN－4

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

まちスポ防災デイin フレスポ恵み野＆まちスポ恵み野

【概　　要】自分の住むまちの防災を見つめなおすきっかけづくりとして、見て・知って・学ぶ体験型防災イベント「まちスポ防災デー」を開催。災害時に出動する救急車や消防車、排水ポンプ車や照明車を展示・紹介。屋内では、近郊で発生した災害や防災に関するパネルで自然の脅威を学ぶ他、自然の魅力も感じていただけるよう「秀逸な道」パネルと動画を紹介しました。
【日　　時】令和４年１１月１３日（土）10:00～15:00／【場　　所】フレスポ恵み野
【主　　催】NPO法人まちづくりスポット恵み野
【後　　援】恵庭市
【協　　力】北海道開発局 札幌開発建設部、恵庭市消防本部、恵庭市基地防災課
支笏洞爺ニセコルート ウェルカム北海道エリア代表者会議



救急車と消防車両



札幌開発建設部　給水車



照明車を体験する親子



フレスポ恵み野





防災や治水になどの取組みを紹介するパネルの展示





秀逸な道を紹介するパネルと動画



支笏洞爺ニセコルート　《ウエルカム北海道エリア》

SW－5

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

かわたび×シーニック　CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2022

【概　　要】CHITOSE RIVER CITY PROJECTは、千歳市中心部を流れる清流「千歳川」を舞台に2014年から継続的に開催されている取組です。３年ぶりの開催は、航空祭等の関連イベントとも連携することで、例年にも増して盛況なイベントとなりました。２日間に及ぶ開催中は、飲食ブース、キッチンカーの出店と全国的にも珍しい川に面した「テラス」の設置、川を目前にせせらぎを感じながら食事を楽しむことのできる憩いの場を提供したほか、小魚を捕まえたり川の中を覗いて見るなどの川遊び、川下り体験といったアクティビティ、フィナーレにはキャンドルとスカイランタンにより千歳川の夜を飾るなど、幅広い年代の来場者に水辺を楽しんでいただきました。



【日　　時】2022年7月30日(土) 11:00～20:00、31日(日) 11:00～20:00

【場　　所】千歳川　河畔公園・親水公園および河川敷（千歳市清水町4丁目）

【主　　催】 一般社団法人 千歳青年会議所　【参加人数】3,769名

【後　　援】千歳市、一般社団法人千歳観光連盟、千歳商工会議所、苫小牧民報社、北海道開発局札幌開発建設部、北海道新聞社千歳支局

（協力）アミューズメント北海道株式会社、株式会社HMエスパス、千歳美々廃棄物処理センター、航空自衛隊千歳基地、国土交通省、公立千歳科学技術大学、シーニックバイウェイ北海道 支笏洞爺ニセコルート、支笏ガイドハウス かのあ、北海道点灯虫の会、北海道千歳リハビリテーション大学、Possibility. Labo、RISA RISE、1ROOM



CHITOSE　RIVERCITY　PROJECT　千歳川テラス



かわたび×シーニックバイウェイ　連携PR



エリア連携　キャンドル点灯

支笏洞爺ニセコルート　《ウエルカム北海道エリア》

SW－6

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

シーニックナイト2023　はなふる

【概　　要】平成18年から開催している「シーニックナイト」。今年度は「こころにともす きぼうのあかり」をテーマにルート6市町で開催。はなふる会場（恵庭市）では、スタンプラリーやキッチンカーの出店、手作りポプリのワークショップなど、昼間のプログラムを企画。
えにわシーニックプロジェクト、恵庭市役所ボランティアサークル「シボラ」等のスタッフにより、スノーキャンドルの制作やキャンドルの点灯を行いました。

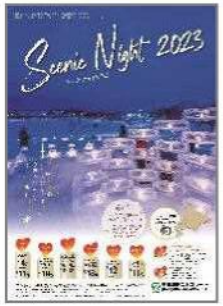
【日　　時】令和５年2月４日（日）11:00～20:00

【場　　所】花の拠点 はなふる

【主　　催】シーニックナイト2023実行委員会／えにわシーニックプロジェクト

【後　　援】恵庭市／札幌開発建設部

【協　　力】恵庭市役所ボランティアサークル「シボラ」、恵庭観光協会



シーニックナイト2023のポスター▶





様々な趣向を凝らしたキャンドルで会場を設営







子どもたちも一緒にスノーランタンづくり











はなふる全体をがキャンドルでいっぱいに

支笏洞爺ニセコルート　《ウエルカム北海道エリア》

SN−7

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

シーニックナイト2023　フレスポ恵み野＆恵み野商店街

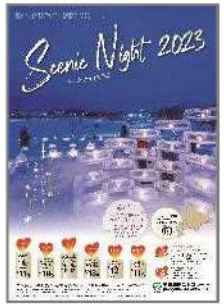
【概　　要】平成18年から開催している「シーニックナイト」。今年度は「こころにともす きぼうのあかり」をテーマに6市町で開催。フレスポ恵み野会場（恵庭市）では、NPO法人まちづくりスポット恵み野、恵庭市内の学生ボランティア等のスタッフにより、スノーキャンドルの制作やキャンドルの点灯、真冬の巨大シャボン玉など、子ども達も楽しめる企画を準備した他、ニセコ羊蹄エリア「きもべつWAO」の皆さんが視察にこられ恵庭商店街のまち歩きなど、交流を図りました。

【日　　時】令和５年2月11日（土）14:00～20:00　【場　　所】フレスポ恵み野

【主　　催】シーニックナイト2023実行委員会／ NPO法人まちづくりスポット恵み野

【後　　援】恵庭市／札幌開発建設部

【協　　力】地元学生ボランティア



シーニックナイト2023のポスター▶







まちすぽスタッフ、企業、学生ボランティアも一緒に会場設営





フレスポ恵み野　キャンドル点灯





ニセコ羊蹄エリア「きもべつWAO」の皆さん







恵み野商店街　キャンドル点灯

支笏洞爺ニセコルート　《ウエルカム北海道エリア》

SN−8

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

シーニックナイト2023　支笏湖あかりの散歩道

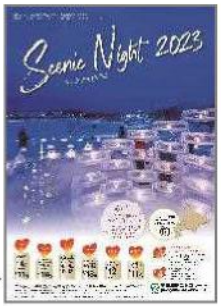
【概　　要】平成18年から開催している「シーニックナイト」。今年度は「こころにともす きぼうのあかり」をテーマに6市町で開催。支笏湖会場（千歳市）では、一般社団法人国立公園支笏湖運営協議会・支笏湖まちづくり機構Neoステージ、地元の地域住民等のスタッフにより園地でのキャンドルの点灯の他、氷濤祭り会場内での特別プログラム（まっくら支笏湖）とコラボレーションし幻想的な空間を演出しました。

【日　　時】令和５年2月19日（日）16:00～20:00

【場　　所】支笏湖温泉街

【主　　催】シーニックナイト2023実行委員会／
一般社団法人国立公園支笏湖運営協議会・支笏湖まちづくり機構Neoステージ

【後　　援】千歳市／札幌開発建設部　【協　　力】支笏湖地域住民



シーニックナイト2023のポスター▶


支笏湖明かりの散歩道


園地でのキャンドルの設置



キャンドルの灯りのなかで記念撮影する来場者


園地を優しく灯すキャンドル



氷濤祭り会場　でのキャンドルの設置



特別プログラム（まっくら支笏湖）でのキャンドル点灯

支笏洞爺ニセコルート

《洞爺湖エリア》

ST－1

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

1008 453(とうや よごさん)キャンペーン2022

【概　　要】国道453号が国道に昇格した平成5年度から実施している国道453号沿線の清掃活動を拡大し、沿線の景観を守り美しいドライブルートを創出する一環として行っている清掃活動。洞爺湖周辺の国道・道道の号数の和が1008（とうや）となることを活動の名称に使用しています。今年度は雨天の中、5コースに分かれてゴミ拾いを行いました。
【日　　時】令和4年7月2日（土）8:30～11:30
【場　　所】伊達市・壮瞥町・洞爺湖町
（国道230号・国道453号・道道2号・道道66号・道道132号・道道578号）
【主　　催】支笏洞爺ニセコルート／洞爺湖エリア代表者会議
【参加人数】60名



挨拶：洞爺湖エリア代表 岩倉氏



説明：洞爺湖エリア事務局 三松氏







開会式の様子



各班にて作業箇所の確認





C班（洞爺湖東半周）の様子

支笏洞爺ニセコルート

《洞爺湖エリア》

ST－2

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

道路周辺等の雑木駆除活動

【概　　要】シーニックバイウェイによる沿道の景観保全活動として、道路の景観を阻害する雑木（クルミ・ヤマブドウ）等を撤去する活動を兼ねて、NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会にて、国道沿道の枝払いを実施しました。活用できる雑木については、加工品として利活用し販売しました。

【主　　催】NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会

（枝払い）

○日　時：令和4年6月18日（土）8:30～11:00
○場　所：国道230号「秀逸な道」認定区間（洞爺湖町）
　　（三豊トンネル～月浦地区の車道外区域）
○主　催：NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会
○参加人数：約30名



▲枝打ちの様子





▲加工品用に樹皮を剥いでいる様子

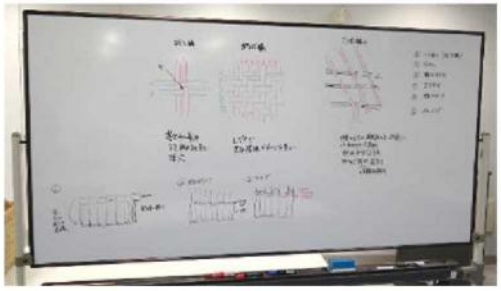
（カゴ編み講習会）

○日　時：令和4年10月10日（月）8:30～15:00
○場　所：道の駅そうべつ情報館i(アイ)
○主　催：NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会
○参加人数：約20名





▲カゴ編み講習会の様子



▲編みカゴの作り方



▲完成した編みカゴ

支笏洞爺ニセコルート

《洞爺湖エリア》

ST−3

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

「秀逸な道」パネル展の実施

【概　　要】環境省との連携によるプロジェクトとして、「秀逸な道」の周知を目的とした、パネル展を開催し、洞爺湖エリアドライブマップ等の配布を行いました。
【実施期間】令和4年12月7日（水）～令和5年1月20日(金)
【実施場所】洞爺湖ビジターセンター 2階
【展示内容】支笏洞爺ニセコルートの「秀逸な道」と洞爺湖エリアドライブマップ等





環境省との連携による「秀逸な道」パネル展

支笏洞爺ニセコルート

《洞爺湖エリア》

ST－4

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

洞爺湖エリアドライブマップ(第2版)の配布

【概　　要】令和3～４年度にかけて『洞爺湖エリアドライブマップ』のレイアウトや掲載内容の更新を行いました。また、効果的な情報発信を目的とした配布箇所の検討を行い、ドライブ観光の発着拠点となりうる管内や道南方面の道の駅や観光協会、ガソリンスタンド等において、計5,000部配布しています。
【日　　時】令和4年度
【主　　催】洞爺湖地区協働型道路マネジメント会議
【配布部数】5,000部

《洞爺湖エリアドライブマップ(第2版)のMAPデザイン》





支笏洞爺ニセコルート

《洞爺湖エリア》

ST−5

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

道路付属施設を活用した情報発信

【概　　要】道路付属施設である道路情報板を活用し、地域活動や各種取組について、注意喚起と合わせたPR活動を実施しています。今年度は洞爺湖有珠山ジオパークの周知を行っています。

○設置期間：令和4年7月25日（月）～11月20日（日）
○設置基数：NHL・HL2型 11基 ＋ NHL・HL3型 7基 ＝ 18基



▲R453　伊達市長和付近



▲R453　伊達市長和交差点付近



▲R37　豊浦町市街



▲R37　伊達市長和付近



▲R37　洞爺湖町青葉トンネル付近

支笏洞爺ニセコルート　《ニセコ羊蹄エリア》　SN－1

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

第28回 尻別川クリーン作戦

【概　　要】清流日本一に何度も選ばれており、たくさんの動植物が生息している尻別川での清掃活動。平成7年から始まり、今年で28回目を迎えた取り組みです。感染症対策等を施した上で、町内外から約300名もの方々にご参加・ご協力いただき、ランラン公園から港地区までの約25km区間を、徒歩で河川敷を清掃する班、そしてカヌー30艇とラフティングボート8艇等を使用して河川流域を清掃する班に分かれて清掃活動を行いました。
【日　　時】令和4年6月18日（土）9:00～12:00
【場　　所】尻別川ランラン公園、目名川橋下流、御成橋付近、港地区ほか
【主　　催】蘭越町・NPO法人しりべつリバーネット
【参加人数】約300名



徒歩での清掃





カヌーでの清掃



SUP（サップ）での清掃



参加者での集合写真



回収したゴミ



募集用チラシ

支笏洞爺ニセコルート　《ニセコ羊蹄エリア》　SN－2

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

寿都鰊御殿ビューポイントパーキングにおける維持管理活動（草刈等）

【概　　要】令和2年度に登録され、令和3年度に除幕式を執り行った「寿都鰊御殿ビューポイントパーキング」において、維持管理活動（草刈・清掃活動）を実施しました。当日は、美しい景観と快適な休憩スペースを提供することを目的に、片岡町長をはじめとした寿都町の活動団体メンバーに加え、同じくニセコ羊蹄エリアのメンバーである倶知安町・京極町・喜茂別町の活動団体メンバーも参加し、ビューポイントパーキング周辺にて活動を行いました。その後、新しい生活様式に則ったうえで、寿都産の牡蠣「寿牡蠣」の試食会を行いました。
【日　　時】令和4年6月25日（土）10:00～14:00
【場　　所】寿都鰊御殿ビューポイントパーキング（寿都町）
【主　　催】寿都町／WAN寿都
【協　　力】WAOニセコ羊蹄再発見の会／京極町景観を考える会／きもべつWAO／後志総合振興局／小樽開発建設部
【参加人数】約25名





維持管理（草刈・清掃活動）の様子


旧橋本家の見学



看板周辺の様子


回収したゴミ



牡蠣試食会の様子

支笏洞爺ニセコルート　《ニセコ羊蹄エリア》　SN－3

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

ニセコ羊蹄エリア連携による尻別川・羊蹄山周辺合同維持管理活動（草刈等）

【概　　要】ニセコ羊蹄エリアを訪れた方々に美しい景観と快適な休憩スペースを提供することを目的に、エリア合同維持管理活動を実施しました。今年度は、過年度より実施されている羊蹄山麓周辺4町（京極町・喜茂別町・倶知安町・ニセコ町）のビューポイントパーキング4箇所と、令和2年度に新たにビューポイントパーキングに登録された「尻別川リバーパーク」駐車場にて活動を行いました。

【日　　時】令和4年7月19日（火）9:00～16:00

【場　　所】ニセコ羊蹄エリアのビューポイントパーキング 計5箇所
- 京 極 町 ：更進ビューポイントパーキング
- 喜茂別町：相川ビューポイントパーキング
- 倶知安町：「尻別川リバーパーク」駐車場／八幡ビューポイントパーキング
- ニセコ町：みらいの森

【主　　催】支笏洞爺ニセコルート ニセコ羊蹄エリア代表者会議
京極町景観を考える会／きもべつWAO／WAOニセコ羊蹄再発見の会／ニセコWAO

【参加人数】約60名



草刈りの様子



花壇整備の様子



清掃活動の様子



「尻別川リバーパーク」駐車場にて

支笏洞爺ニセコルート　《ニセコ羊蹄エリア》

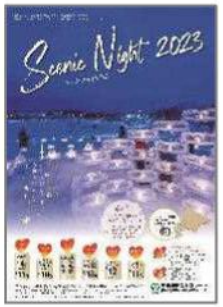
SN－4

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

シーニックナイト2023　道の駅あかいがわ及び村内各所

【概　　要】毎年２月の第２土曜に村内で一斉にキャンドルを点灯するシーニックナイト。道の駅あかいがわ周辺では、スノーキャンドルの制作やキャンドルの点灯、真冬の打上げが行われました。また今年は役場前から中学校の交差点までの道路にもキャンドルを灯しました。振舞いで用意した甘酒、ホットココアも好評でした。
【日　　時】令和5年2月11日（土・祝）16:00～21:00
【場　　所】郷の駅ホッときもべつ周辺
【主　　催】シーニックナイト2023実行委員会／
NPO法人赤井川観光協会／えー・くるー
【後　　援】赤井川村／小樽開発建設部

シーニックナイト2023のポスター▶




スノーキャンドル点灯


ハートキャンドルの設置


道の駅あかいがわエントランス


花火の打上げ







村内各所の様子

支笏洞爺ニセコルート　《ニセコ羊蹄エリア》

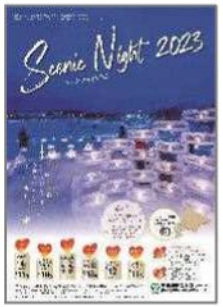
SN−5

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

シーニックナイト2023　郷の駅ホッときもべつ周辺

【概　　要】平成18年から開催している「シーニックナイト」。今年度は「こころにともす きぼうのあかり」をテーマに、SNS投稿によるオンライン開催を展開したほか、6市町村にて現地で開催されました。郷の駅ホッときもべつ周辺では、少人数のスタッフによるスノーキャンドルの制作やキャンドルの点灯、真冬の花火大会が行われました。
【日　　時】令和5年2月12日（日）15:00～21:00
【場　　所】郷の駅ホッときもべつ周辺
【主　　催】シーニックナイト2023実行委員会／
きもべつシーニックナイト実行委員会／NPO法人きもべつWAO
【後　　援】喜茂別町／小樽開発建設部
【協　　力】一般社団法人きもべつ観光協会／喜茂別町商工会

シーニックナイト2023のポスター▶




雪壁へのキャンドル点灯


雪壁へのキャンドル文字作成


点灯後の様子


真冬の花火大会


郷の駅ホッときもべつ会場


郷の駅ホッときもべつ向かい イベント特設会場



支笏洞爺ニセコルート　《ニセコ羊蹄エリア》

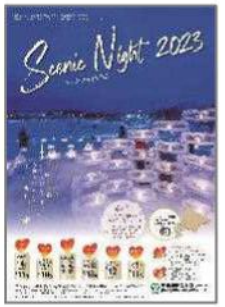
SN−6

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

シーニックナイト2023　くっちゃん

【概　　要】倶知安町では、「雪トピアフェスティバル2023」と連携し、町内各所で雪ダルマや雪像にキャンドルを灯し、くっちゃんのまちを明るく照らします。町内外の方々が参加し、スノーキャンドルづくり、キャンドル一斉点灯に加えて、地元ダンサー達が華やかさを演出します。
【日　　時】令和5年2月19日（土）15:00～21:00
【場　　所】倶知安町内八幡ビューポイントパーキング、国道5号 峠下チェーン着脱場ほか町内各所
【主　　催】シーニックナイト2023実行委員会／NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会
【後　　援】倶知安町／小樽開発建設部
【協　　力】雪トピアフェスティバル2023実行委員会

シーニックナイト2023のポスター▶




雪トピアフェスティバル2023会場


峠下チェーン着脱場会場


八幡ビューポイントパーキング会場


関係者の集合写真@八幡ビューポイントパーキング



大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：沿道の清掃活動ゴミゼロキャンペーンの実施

【概　　要】上富良野町にて、国道沿道の清掃活動「ゴミゼロキャンペーン」を実施した。商工会や観光協会等の地域団体、地域の企業、住民等、多数が参加し、国道・道道・町道のゴミ拾いを広範囲で実施した。

【日　　時】上富良野：4月１７日 10:30～12:00

【場　　所】上富良野町

【主　　催】大雪・富良野ルート運営代表者会議

【参加人数】288名（主催者20名、一般参加268名）








大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：人と未来とつなぐ100年の木プロジェクト
～上川から十勝までの広域サインツリー植樹プロジェクト～

【概　　要】大雪・富良野ルートと十勝シーニックバイウェイ（全３ルート）、ガーデン街道協議会が連携して取組んでいる「人と未来を繋ぐ100年の木プロジェクト」では、継続的に植樹した木の維持管理を実施した。令和4年5月20日、9月21日に植樹した全15箇所、55本の現地確認等を行った。維持管理の状況や今後の活動を検討するために、全体会議を令和4年11月1日に開催した。

【日　　時】総会：5月10日（帯広）　維持管理・点検：5月20日、9月21日
全体会議：11月1日（旭川）

【場　　所】大雪・富良野ルート

【主　　催】北海道の美しい景観を育てる会

【参加人数】全体会議 約20名、植樹 約10名





維持管理・点検の様子



会議の様子

大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト

【概　　要】平成25年から道北のシーニックバイウェイルートが連携し、ルート内の美しい風景や地域資源を収集することを目的に、フォトコンテストを開催。平成30年度からは学生部門を設けた。令和4年度はコロナ禍ということで、過去に撮影した作品の応募も可能とした。作品の応募は、過去最多となった。

【募集期間】 6月1日～9月30日

【日　　時】 4月26日（オンライン会議）、11月11日

【場　　所】大雪・富良野ルート、宗谷シーニックバイウェイ、萌える天北オロロンルート、天塩川シーニックバイウェイ

【主　　催】道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト実行委員会

【参加人数】全応募作品：214作品（うち学生部門10作品）





審査会の様子



※※※　大雪・富良野ルート賞　※※※
【ルピナスと十勝岳】
撮影者：天野留美子

大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：「道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト」の作品巡回パネル展

【概　　要】道北シーニック連携フォトコンテスト及び大雪・ルートの風景を一般市民や旅行者にPRするために、過年度のフォトコンテスト入選作品のパネル展を実施した。令和3年度は、令和3年7月20日～8月16日に旭川空港、10月20日～11月2日に旭川地方合同庁舎アトリウム、令和4年1月6日～1月20日に旭川空港で実施した。

【日　　時】旭川地方合同庁舎アトリウム　令和4年10月20日～11月1日
旭川空港　令和4年7月14日～26日、令和5年2月1日～14日
丘のまち交流館bi.yell　令和4年9月6日～19日

【場　　所】旭川地方合同庁舎アトリウム、旭川空港、丘のまち交流館bi.yell

【主　　催】大雪・富良野ルート運営行政連絡会議



丘のまち交流館bi.yell　のパネル展



合同庁舎アトリウムのパネル展

大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：秀逸な道等に関する情報発信

【概　　要】国道237号深山峠が秀逸な道区間に認定を受けたことをきっかけとして、シーニックバイウェイ北海道や大雪・富良野ルートの認知度を高め、周遊観光を推進するために、スマートフォンアプリやyoutubeを活用した情報発信を実施した。
【日　　時】通年
【場　　所】大雪・富良野ルート内　17か所
【主　　催】大雪・富良野ルート運営代表者会議



秀逸な道（ジェットコースターの路）のyoutube動画



動画情報のチラシ

大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：秀逸な道　景観点検の実施

【概　　要】国道237号美馬牛峠から上富良野市街地区間が秀逸な道に登録されたことを受けて、秀逸な道区間の現状を確認し、景観の課題や今後の展開を検討するために、地域と協働による景観診断を冬期に実施した。
【日　　時】 令和5年1月26日　13:00～16:30
【場　　所】国道237号深山峠（秀逸な道区間）
【主　　催】旭川開発建設部、大雪・富良野ルート運営代表者会議
【参加人数】約8名



上富良野深山峠での
景観点検のようす



上富良野ジェットコーコースターの路での
景観点検のようす



上富良野見晴台公園公衆トイレでの
景観点検のようす

A－1

東オホーツクシーニックバイウェイ

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

活動名：『シーニックデッキの創出』

【概　　要】景観の良い駐車スペースのあるポイントに、シーニックデッキを設置し旅行者などがゆっくりと景色を眺め休憩する事により、東オホーツク地域全体の景観ＰＲをはじめ、地域との交流や、農産物の特産品販売等、コミュニティビジネスの創出の可能性も高まる。さらに道路利用者のオアシスとして交通安全に寄与する。

【設置箇所】斜里岳山小屋清岳荘（清里町字江南）、メルヘンの丘（大空町女満別）、季風クラブ（斜里町ウトロ）、上斜里南駐車場（清里町札弦）、コミット（清里町水元町）、きよ～る（清里町羽衣町）、あばしりフロックス公園（網走市呼人）、小清水リリーパーク（小清水町元町）、峠の湯びほろ（美幌町都橋）

【主　　催】東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議



R4年度登録された峠の湯びほろのシーニックデッキ



きよ～る（清里町羽衣町）のシーニックデッキ

A－2

東オホーツクシーニックバイウェイ

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

活動名：R334イタドリ伐採

【概　　要】秀逸な道区間としてのドライバー目線での良好な走行景観の提供等を目的に、東オホーツクシーニックバイウェイ斜里エリアの活動団体である「しれとこウトロフォーラム21」を中心に、網走開発建設部、SNS・チラシで募集したボランティア等により、秀逸な道区間の特徴的な景観資源でもあり、ウトロへのゲートでもある「カメ岩」への眺望景観を確保するように、沿道のオオイタドリの伐採を実施した。

【実施月日】令和4年6月4日

【実施場所】R334斜里町ウトロ　ウトロトンネル入り口～フンベ川河口付近（約400m）

【主　　催】東オホーツクシーニックバイウェイ斜里エリア（しれとこウトロフォーラム２１）

【参加人数】３１人



▲参加者募集チラシ









A－3

東オホーツクシーニックバイウェイ

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

活動名：R243沿道清掃

【概　　要】秀逸な道候補区間として、選定区間昇格に向けた当該区間誘客に資する良好景観の向上・維持を行う目的から、東オホーツクシーニックバイウェイ美幌エリアの活動団体である「美幌歩こう会」を中心に、網走開発建設部、美幌町、民間企業（当該国道維持関連）等により、秀逸な道候補区間における沿道ゴミ拾いを実施。

【実施月日】令和4年５月２５日

【実施場所】R243秀逸な道候補区間（美幌町福住地区の約４ｋｍ）

【主　　催】東オホーツクシーニックバイウェイ美幌エリア（美幌歩こう会）

【参加人数】３５人



▲清掃活動状況



▲参加者記念撮影

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名： 道北ルート連携フォトコンテストの開催（継続）

【概　　要】大雪・富良野ルート、萌える天北オロロンルートとのルートを跨いだフォトコンテスト。
平成29年度から天塩川ルートも加入した。８年目の開催。
【応募期間】令和４年6月1日～9月30日
【主　　催】道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会



チラシ

【グランプリ・天塩川シーニックバイウェイ】 西川文彬



作品名：天空の波濤

【ルート賞・宗谷シーニックバイウェイ】 藤井啓太



作品名：雲海を見下ろす　白い道で

これまでの応募作品数

ルート名	応募作品総数								
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
大雪・富良野ルート	35	49	69	23	58	71	88	95	82
宗谷シーニックバイウェイ	38	49	95	40	35	80	76	148	47
萌える天北オロロンルート	44	51	43	29	31	55	72	61	57
天塩川シーニックバイウェイ	-	-	-	-	7	48	46	44	22
対象外	3	9	6	0	2	0	0	0	0
合計	117	149	213	92	133	254	282	348	214

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名： 道北ルート連携フォトコンテストのパネル展の開催（継続）

【概　　要】道北ルート連携フォトコンテストや道北の美しい風景をPRするために、フォトコンテストの入選作品のパネル展を開催した。
【主　　催】道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会
【開催場所】道の駅「北オホーツクはまとんべつ」、稚内地方合同庁舎、稚内市図書館、豊富町「ふらっと★きた」、稚内市「キタカラアトリウム」、

パネル展開催日程

開催箇所	日程
道の駅「北オホーツクはまとんべつ」	6/13～6/24
豊富町「ふらっと★きた」	8/1～8/8
稚内地方合同庁舎	8/9～8/19
稚内市「キタカラアトリウム」	8/22～9/1
稚内市図書館	2/1～2/17

豊富町「ふらっと★きた」



道の駅「北オホーツクはまとんべつ」



稚内市図書館

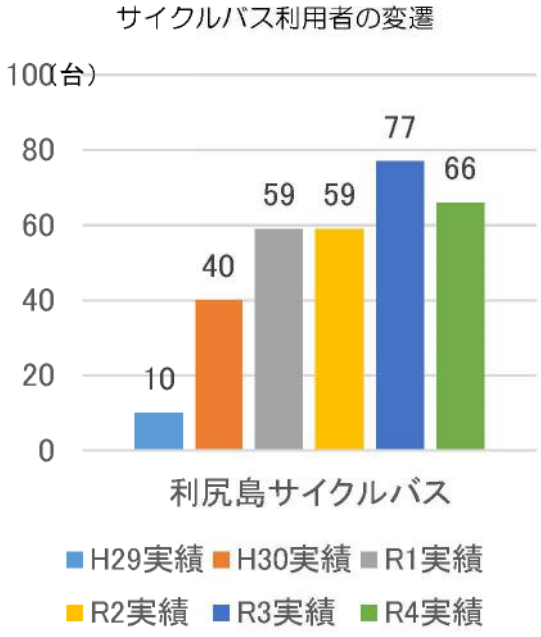


宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：利尻島での自転車・バスの周遊観光実験（継続）

【概　　要】絶景と約25kmにも渡るサイクリングロードを有する利尻島を、サイクリング適地と位置づけ、ライト層であっても気軽に利尻島約60kmを1周できる仕組みづくりを行う。平成29年度の実証実験を経て、平成30年度から本格的にサービスが開始した。
【実施期間】令和3年4月21日～10月31日（194日間）
【自転車積載回数】：77台回
※H29実績 12台回（平成29年8月1日～10月31日）、H30実績 40台回（平成30年4月21日～10月31日）、R1実績 59台回（令和元年4月21日～10月31日）、R2実績 59台回（令和2年4月21日～10月31日）、R3実績 77台回（令和3年4月21日～10月31日）、R4実績 66台回（令和4年4月21日～10月31日）





自転車を積載している様子



車内で掲示されている利用案内



自転車を固定している様子

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：秀逸な道（宗谷ヒストリーロード）清掃活動（継続）

【概　　要】国道238号「秀逸な道」声問区間（稚内空港周辺の３キロ区間）における沿線の美化活動。令和元年度から実施し、令和４年度で４回目となった。秀逸な道の清掃活動には、山本建設㈱、稚内印刷㈱、稚内ローターククラブ、稚内信金、稚内市、稚内開発建設部の68名が参加した。今年度から豊岩駐車帯の清掃も実施した。

【日　　時】令和4年7月22日

【場　　所】稚内市声問

声問区間の集合写真



声問区間の清掃活動



声問区間の清掃活動



声問区間の清掃活動



豊岩駐車帯の清掃活動



豊岩駐車帯の集合写真



宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：宗谷丘陵・白い道サスティナブルな観光コンテンツ事業

【概　　要】稚内観光協会と連携し、「白い道」の資源保護や満足度の向上など来訪者に持続可能な観光地への取組を体験していただく実証実験。具体的には、キッチンカーによる軽食提供、リラックスコーナーの設置、電動MTB及び電動キックスクーターの貸し出し、ガイドツアーの開催、敷設貝殻の販売を行った。

【日　　時】令和4年9月17日（土）、18日（日）　※18日は雨天のため中止

【場　　所】稚内市宗谷岬・白い道









A－1

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：道の駅における駐車場利用環境向上（運営委員会）

【概　　要】道の駅「摩周温泉」では車中泊者による路上駐車など、繁忙期における駐車場の混雑が問題となっていた。そこで、令和元年度から駐車場利用環境向上の取組を実施しており、令和4年度も、予約制駐車スペースと臨時駐車場への誘導の取組を実施した。

【日　　時】令和4年7月1日（金）～9月26日（月）

【場　　所】道の駅「摩周温泉」（弟子屈町）

【主　　催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ　運営委員会



予約制駐車スペースの設営



道の駅「摩周温泉」の地図と取組箇所の位置



臨時駐車場への誘導看板



予約制駐車スペース利用風景



夜間の街灯点灯時間の延長

A－2

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：そらの森 植樹会
（景観まちづくり部会）

【概　　要】景観まちづくり部会では、そらの森（弟子屈飛行場跡地）での植樹活動を継続的に実施している。令和4年度は12回目の植樹祭であり、地域の子供達や障がい者とともに、飛行場跡地の植樹活動を通じて、カーボンオフセットのシーニックの森づくりを行った。
【日　　時】令和4年10月１日　10時～13時
【場　　所】そらの森（弟子屈町飛行場跡地：一般国道241号沿い）
【主　　催】景観まちづくり部会 、シーニックカフェプロジェクト
【参加人数】約45名



参加者の集合写真




そらの森での植樹活動の様子

A－3

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：「秀逸な道」区間の清掃活動
（景観まちづくり部会）

【概要】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイでは、ルート内の2区間が「秀逸な道」に認定されている。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ゴミ拾いアプリ「Pirika」を利用した小規模な清掃活動しかできなかったが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症に注意しつつも、久々に多くのメンバーが集まって清掃活動を実施した。

【場所】一般国道243号「秀逸な道」区間（弟子屈町）の駐車帯
中標津町道「秀逸な道」区間（中標津町）の駐車帯

【日時】令和4年9月10日（弟子屈町）、令和4年10月22日（中標津町）

【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ　景観まちづくり部会

【参加人数】一般国道243号「秀逸な道」区間：18名、中標津町道「秀逸な道」区間：13名



清掃活動の実施状況（一般国道243号「秀逸な道」区間）



清掃活動の実施状況（中標津町道「秀逸な道」区間）

A－1

函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニック清掃・植栽活動

【概　　要】平成20年度から始まったルート連携活動。4月29日を『シー(4)ニック(29)の日』と位置づけ、桜の季節に合わせて、観光客の皆様にはおもてなしの気持ちを込めて、地域住民の方へはきれいな景観づくりを目指し、管内３か所の観光地や沿道の清掃活動や植栽活動を行っている。令和4年度は新型コロナウィルス対策を行いながら、3箇所で実施した。

【日　　時】令和4年4月29日（シーニックの日）

【場　　所】五稜郭タワー周辺、函館市地域交流まちづくりセンター周辺、
函館市縄文文化交流センター周辺

【主　　催】函館・大沼・噴火湾ルート

【参加人数】100名





▲五稜郭公園及び五稜郭タワー周辺





▲函館市縄文文化交流センター周辺

函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：第19回　国道5号函館新道花いっぱい活動 2022

【概　　要】函館の玄関口である国道5号函館新道インターチェンジ付近。函館新道（国道5号）の開通をきっかけとして始まった植栽活動を行う取組。札幌方面から函館新道を利用して函館に入る時の玄関口となるため、観光客や地域住民の方々に気持ち良く走ってもらおうと、おもてなしの気持ちを込めて実施している。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策について十分留意しながら、地元の小中高生等が参加する全体での植栽活動を再開することにつながった。今回は、スペシャルゲストとして、北海道日本ハムファイターズの公式マスコットB･Bくんが応援に駆けつけてくれました。

【日　　時】【花植え活動】令和4年6月11日（土）／【撤去活動】令和4年10月23日（日）

【場　　所】国道5号函館新道インターチェンジ付近

【主　　催】函館花いっぱい道づくりの会

【参加人数】約600名（花植え活動）/約600名（撤去活動）



▲花植え活動　募集チラシ



▲花植え活動(6/11)の様子



▲撤去活動（10/23)の様子

函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：現地診断の実施～

【概　　要】地域資源の再発掘や課題、対応策の検討等を目的として、現地診断を実施した。
参加者には新たな課題や対応対策案等を記入するための診断シートを配布し、意見や感想等を記入してもらい、後日回収した。

【日　　時】令和4年9月29日（木）～9月30日（金）　2日間

【場　　所】啄木小公園、汐首駐車場、トーパスヴィレッジムーイ、日浦洞門、道南金剛、道の駅なとわえさん、恵山海浜公園、恵山温泉、海峡展望台、恵山、恵山岬灯台、灯台公園、灯台資料館、銚子サーフビーチ、道の駅縄文ロマン南かやべ、垣ノ島遺跡、大船遺跡、三味線滝、道の駅しかべ間歇泉公園、鹿部温泉、鹿部公園、ハマナス台場公園、道の駅つど～るプラザさわら、さわらフラワーロード、駒ヶ岳良景観スポット《25箇所》

【主　　催】一般国道２７８号協働型道路マネジメント会議

【参加人数】31名（マネジメント会議委員長・委員、ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ、自治体、函建、dec）



▲　現地診断の様子　活火山　恵山



▲　現地診断の様子　ハマナス台場公園

現地診断の意見要約のまとめ①

	現状課題に対する感想・意見	今後の取組み・対策案
①啄木小公園	・駐車場が狭い。 ・一方通行の標識がわかりづらい。逆走の可能性がある。 ・駐車スペース、走行車線、歩行者導線が混在し、少々危険。 ・ロケーションが良く、観光の視点では有利な場所。	・駐車場の拡大。 ・啄木小公園を縮小、公園の縮小部分を、駐車場に変更。 ・バスの駐車スペースを整備。 ・案内看板の設置。 ・駐車場の逆走防止の看板設置。入り口を明確に示す看板設置。 ・海岸整備と連携した、観光性の高い公園（駐車場）整備。 ・駐車スペース、走行車線、歩行者導線の区分け。
②汐首駐車場	・駐車場が入りづらい。特に恵山から函館に向かう方向。 ・入り口が狭い。 ・ガードケーブルは必要か。 ・山側景観の活用。 ・海の景観が素晴らしい。	・駐車場の拡大。 ・出入口の拡大。（ガードケーブルの撤去など） ・周辺一帯の一体的観光資源化（汐首岬、観音岡、旧戸井線アーチ橋、山側旧道）。 ・展望展望台の設置。
③トーパスヴィレッジムーイ	・国道からの入り口がわかりにくい。 ・案内をわかりやすくするべき。 ・施設のＰＲが必要。	・わかりやすい看板灯、ＰＲ看板を設置。 ・サイクル受け入れ施設の整備。 ・展望所設（コテージ）のアピール。 ・周辺施設の安全点検の実施。 ・周に関するイベントの実施。
④日浦洞門 ⑤道南金剛	・景観が素晴らしく、魅力を再認識。アピールが必要。 ・駐車場があり、ガイドの説明があると更に良い。 ・道幅幅が狭く、注意喚起が必要。	・周辺への誘導看板の設置。利用促進の周知。 ・駐車場、駐輪場の整備。 ・自転地帯への立ち入り禁止措置。
⑥道の駅なとわえさん ⑦恵山海浜公園	・景観が素晴らしく、魅力を再認識。 ・青森、名古屋、神戸ナンバー等、遠方から車で来ている。	・道の駅とキャンプ場の連携。 ・恐山も観光資源としてアピール。 ・道の駅周辺環境道路整備の基本の対取り幅を広げ、道路からの景観を確保。 ・シーニックデッキとして活用。 ・イベントの強化。 ・キャンピングカー利用の整備。 ・空きスペースの活用。 ・指定の道の駅の運営強化。
⑧恵山温泉	・サイクルルートとしての資源になり得る。 ・民間施設なので、積極方針に関与できない。	・温泉を含めた積極的なＰＲ。 ・野鳥観察場所としてＰＲ、環境整備。 ・道の駅、つつじ公園からの誘導。 ・火山をつなぐ観光ルートの検討。

▲　現地診断の意見要約のまとめ

函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニックの森づくり事業～ススキ刈りとツル剪定～

【概　　要】平成21年度から始まったルート連携活動。カーボンオフセットの考えを取り入れたCO_2削減を主目的とし、ブナの森を蘇らせるために、付近の山から山取りした苗木を約１００本植栽している。最近では、苗木に被圧がかかっているススキなどの下草刈りを主に行っており、今年度は、「広報ほくと」を活用した参加者の獲得を行った。なお、令和4年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染状況に配慮し、地元のボランティアの募集は中止し、関係者のみによりススキ刈り等を実施した。

【日　　時】令和4年10月16日（日）

【場　　所】きじひき森林公園の森

【主　　催】函館・大沼・噴火湾ルート

【参加人数】20名（主催者及び関係者のみで実施）



▲開会式の様子





▲下草刈りの様子



▲下草刈り後の集合写真

函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：石田先生をお招きした現地視察及び意見交換会～

【概　　要】　函館・大沼・噴火湾ルートにおける、①コロナ禍におけるルートの取組状況、現状・課題、②課題を踏まえた今後の函館・大沼・噴火湾ルートの将来像等について、筑波大学　特命教授・名誉教授である石田東生氏をお招きし、関係者間で現地視察及び意見交換会を行った。

【日　　時】令和4年11月15日（火）　11:30～17:30

【場　　所】恵山岬・恵山岬灯台　周辺及び函館市内

【主　　催】函館・大沼・噴火湾ルート

【参加人数】約10名（シーニック関係者・函館開建・dec）

【内　　容】①現地視察（汐首峠、日浦洞門、道の駅「なとわ・えさん」、恵山岬灯台公園）
②意見交換会（コロナ禍における取組状況、現状と課題、ルートの将来像等）



▲ 現地視察：汐首駐車場


▲ 現地視察：日浦洞門


▲ 現地視察：恵山岬灯台


▲ 現地視察：汐首駐車場


▲ 現地視察：道の駅なとわ・えさん


▲ 意見交換会の様子

函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニックdeナイト2023

【概　　要】平成18年度から始まったルート連携活動。国道や道道沿線、観光施設や公園などに、全て手作りのワックスキャンドルを設置する取組。今年度は、計6箇所（その他の予定箇所は、コロナウィルスの影響により中止）で実施した。また、各会場では、手作りのワックスキャンドルで、シーニックのロゴマークにもなっているハート形を演出した。今後は、さらなる実施地域の拡大とツアー造成等による観光客の獲得を目指す。

【日　　時】2023年２月4日(土),11日(日),12日(日),18日(土),25日(土)

【場　　所】五稜郭公園、シエスタ前～行啓通り、函館新道、函館市地域交流まちづくりセンター、函館市縄文文化交流センター、亀田八幡宮境内（以上、函館市）、函館七飯スノーパーク（七飯町）

【主　　催】シーニックdeナイト実行委員会／函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議

【参加人数】約500名



▲リーフレット









▲函館新道（函館市）





▲函館市縄文文化交流センター（函館市）

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

A－1

活動名：道路景観プロジェクト（海岸清掃）

【概　　要】ルート内の秀逸な道として、平成30年度から清掃活動に取り組んでいる。令和3年度からの秀逸な道の本格運用に伴い、当該区間が選定候補区間に登録されたことから、清掃活動（苫前町クリーンアップ日本海事業とコラボ）を行うとともに、ビーチコーミングの実践と勉強会を行った。
【開 催 日】令和4年6月7日　9:00～11:30
【開催場所】一般国道232号 上平







当日はビーチコーミングの実演とコカ社（SBW包括連携企業）が参加してくださった。

《清掃活動後のビーチコーミング勉強会＆意見交換会》

- 秀逸な道と掛け合わせて清掃活動を実施し、その成果を全道で発表してみてはどうか。
- 地道に清掃活動を進めていき、次の活動や調査に活かしていきたい。既存の取組を、自治体ごとにカレンダーに起こしてみることで、どこと清掃活動を繋げられるのか見えてくるかもしれない。
- 単独よりも大勢で活動した方が、より楽しさも課題解決の確立も増すと思う。
- 今回、清掃活動後に勉強会の場を設けたことで、楽しいで終わらず次に繋げられていると感じた。



A -2

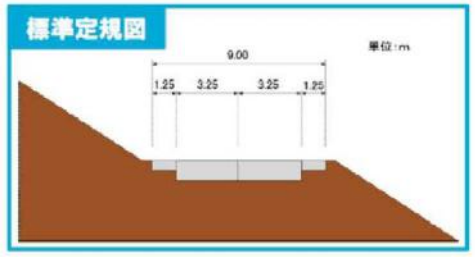
萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：道路景観プロジェクト（オロロンライン・エゾカンゾウプロジェクト）

【概　　要】2020年度に事業化された「一般国道232号 小平防災事業」によって、小平町大椴の法面にて自生するエゾカンゾウが今年度夏期に消失する。そのため、エゾカンゾウの種を採取し今後別所に定植させることで、オロロンラインの道路景観を保全・復元を目指すプロジェクトを緊急的に立ち上げた。
【開 催 日】令和4年7月14日　被覆作業　9月16日　種播き作業





小平防災事業の区間と事業イメージ



エゾカンゾウ



工事前のエゾカンゾウ

7月14日被覆作業



法面での作業の様子



作業後の記念撮影

9月16日種播き作業



種播き作業

現在育苗中



萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

A－3

活動名：シーニックカフェの登録・カフェ連携の推進

【概　　要】ルート内の景観のすばらしい場所や飲食店を、シーニックバイウェイ推進協議会で統一的に広報活動を実施している「シーニックカフェ」として登録し、ルート内の景観のよい場所や施設を統一的にPRすることで、ブランド化に繋げることを目的として実施している。現在、ルート内に9カ所のカフェが登録されている。

【登　録　数】シーニックカフェ9ヵ所（令和4年現在）

<登録先カフェ>※赤字2箇所 R2 再登録
・喫茶ポルク（増毛町）
・千望台レストハウス
⇒ハートランドカフェ（留萌市）
・ふなばカフェ（るしんふれ愛パーク内：留萌市
・からくれ（小平町）
・ラウンジWildmill（道の駅風Wとままえ内：苫
・TIARA（羽幌町）
・レストラン北極星（初山別村）
・道の駅富士見レストランとんがりかん
⇒道の駅えんべつ富士見（遠別町）
・てしお温泉夕映レストラン（天塩町）



令和3年10月1日より
全道的なPRサイトが開設





令和4年度より
自転車御守頒布開始

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名： 道北ルート連携フォトコンテストの開催

【概　　要】大雪・富良野ルート、宗谷シーニックバイウェイ、天塩川シーニックバイウェイの道北4ルートによる、ルートを跨いだフォトコンテストを実施した。今年度で8年目の開催で、過年度の受賞作品については、管内巡回パネル展示を実施している。
【応募期間】令和4年6月1日～9月30日
【主　　催】シーニックバイウェイ北海道 道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会

7月中旬～8/3	8/3～	8/31～	9/30～	11/1～	12/1～1/11	
道の駅るもい	道の駅 おびら鰊番屋	道の駅 えんべつ富士見	しょさんべつ温泉 ホテル岬の湯	道の駅 風Wとままえ	道の駅 ほっと♡はぼろ	道の駅 てしお
						

令和4年受賞作品



グランプリ賞（天塩川）
『天空の波濤』



萌える天北オロロンルート賞
『爽快サイクリング』



入選
『春の旅立ち』



入選
『シーニックバイウェイ』

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

A－5

活動名：オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト（全体像）

【概　　要】令和元年度からの継続事業として、今年度は「オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト（浸透期）」と位置づけ、過去2カ年のサイクリスト受入環境整備の成果を拡大成長させることと同時に、管内サイクリストや地元高等学校などの他団体との連携を強化。引き続きに本取組の成果を管内に浸透させつつ、今後の管内のサイクルツーリズムの振興の足掛かりを築くことを目的とする。

	取組メニュー	令和3年度までの実績	令和4年度取組内容（案）
継続	手ぶらサイクルの検討（地元バス事業者との協議）	「手ぶらサイクリング」の実現に向け、地元バス事業者との打合せ（コロナ禍のため協議中断）	地元バス事業者との打合せの再開
継続	サイクリスト・応援カーの試行実施	（令和元年・令和2年）管内道路維持業者7社の道路パトロールカーに、自転車用空気入れと工具搭載 （令和3年）天塩川河川パトロールカーにも実施拡大／「サイクリスト・応援カー出発式」開催	取組のモチベーションアップのために「サイクリスト・応援カー出発式」を継続開催し、サイクリストとパトロールカー運転手とのコミュニケーションの円滑化と運転手のスキルアップ　済
継続	オロロンライン・サイクルステーションの設置・拡大	（令和元年・令和2年）管内3箇所で自家製サイクルラックをワークショップ型式にて作成。管内道の駅・シーニックカフェ等へ配布（配布先を「オロロンライン・サイクルステーション」として指定） （令和3年）苫前商業高校生たちと地域協働でサイクルラックの作成、苫前町内及び管内除雪ステーションに設置	「オロロンライン・サイクルステーション」の設置から保守へのステップアップと「オロロンライン・サイクルステーション」のPR強化　済
継続	バイクホテルの設置・拡大	（令和2年）天塩町内宿泊施設にて、室内サイクルラックを設置	留萌中部・南部に1箇所ずつ設置する（バイクホテルの拡大）
継続	管内サイクリストの巻き込み	（令和3年）苫前商業高校生たちと「自転車ツーリング事業」の実施	継続的な連携をしつつ、高校側の事業の自走化までを支援するとともに、ツーリングを中心としながらも留萌地域を知ってもらう仕掛けを実装する。　済
継続	管内の新しいサイクリングの楽しみ方の提案		
新規	オロロンライン聖地化プロジェクト	-	「サイクリストの憧れの地」としてブランディング向上に向けた取組へとこの事業をステップアップさせる地固めを行う。

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト
（サイクリスト・応援カー出発式）

【概　　要】管内の国道等の道路パトロールカーに空気入れや自転車用工具セットを搭載する取組みを令和2年度から試行的に実施しており、取組の気運を高めるため、『「サイクリスト・応援カー」出発式』を開催する。
【開 催 日】令和4年5月12日（木）
【開催場所】留萌開発建設部 羽幌道路事務所
【主　　催】萌える天北オロロンルート
【協　　力】維持ネットワーク協議会留萌支部（管内国道維持業者７社）
かわたびほっかいどう天塩川 河川巡視1社






出発式の様子

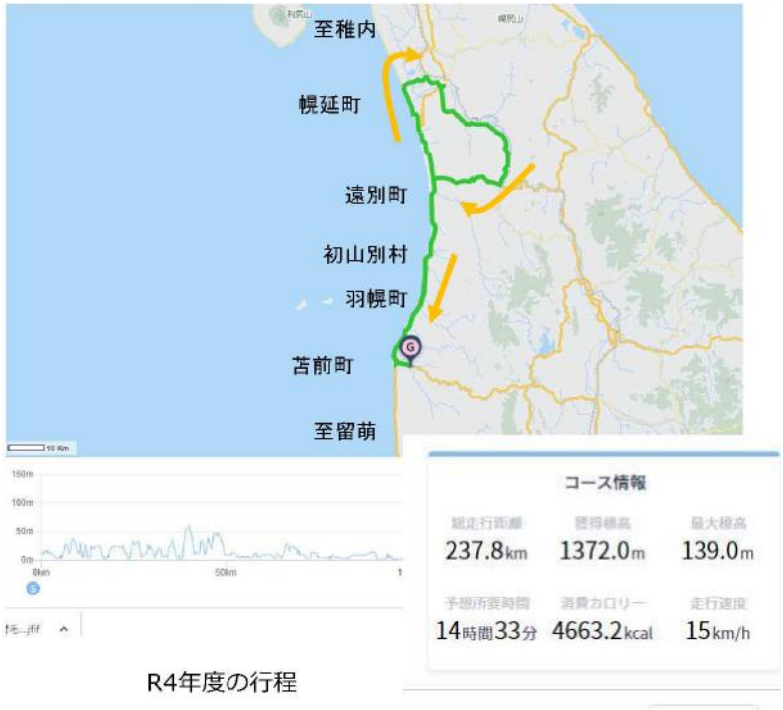
A－7

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト
（苫前商業高校ツーリング事業への協力）

【概　　要】苫前商業高校と苫前町教育委員会による自転車ツーリング事業とタイアップすることで、苫前商業高校の生徒数増加に向けたPRをともに、管内他高への展開に向けた事例づくりを行う。具体的には、自転車ツーリング事業の企画段階から安全な自転車の乗り方の助言をするとともに、管内の隠れた魅力を高校生たちに伝えながら、2泊3日の自転車ツーリング事業を企画。
【開 催 日】令和4年7月26日（火）～28（木）
【主　　催】苫前商業高校・苫前町教育委員会　【協　　力】萌える天北オロロンルート
【参 加 者】苫前商業高校（高校生9名、教員等4名）・苫前町教育委員会（職員2名）・萌える天北オロロンルート（6名）



R4年度の行程



資金確保に向けた取組



R4年度の様子

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト
（メンテナンス講習会の開催）

【概　　要】留萌管内でスポーツバイクをメンテナンスできる自転車店は数少なく、今後管内の事業者や観光団体などがサイクルツーリズムを振興する上で、応急的なメンテナンススキルの習得は、今後より一層必要となることから応急的なメンテナンススキルを習得する講習会を開催。
【開 催 日】令和4年10月17日（月）　10:00～12:00
【開催場所】てしお温泉夕映
【主　　催】萌える天北オロロンルート
【共　　催】（一社）シーニックバイウェイ支援センター
【協　　力】てしお温泉夕映



案内チラシ











受講証明書

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

A-9

活動名：オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト
（オロロンライン聖地化プロジェクトの検討）

【目　　的】過年度までの受入環境整備を中心としていた取組を基盤に、管内の景観の良い視点場を「聖地」として選定した上、これらの「聖地」の視点場としての品質向上に向けた取組（「聖地」の在り方や条件の検討、「聖地」の選定、視点場としての磨き上げの方策検討）やブランディング向上（サイクリストミーティングイベントの実施、自転車関連メーカーとのタイアップ等）に向けた取組を行う。
（参考とする取組：草千里プロジェクト）

	調査先	調査結果
ヒアリング調査	サイクルスポーツ オルトリーブ （輸入代理店：ピーアールインターナショナル）	• 北海道の自転車観光のポテンシャルはやはり強固 • ガイドライドではなく、ミーティングイベントという可能性は未知。コロナ禍を経て、サイクルイベントも見直しが図られる。そこに上手く乗れるかどうか。 • アットホームなイベントづくりが吉。 • 道内の自転車ショップとの連携を強化することが望ましい。
現地調査	大分 熊本 釧路	• サイクルツーリズムは、バイウェイの活用方法として取り組んでいる。 • 九州と北海道は食べ物も気候も違うので、食材を通した連携が良い。 • 拠点になる取組のひとつとして、道の駅阿蘇ではトイレの改修によって空地となった元トイレスペースをサイクリスト用の着替えスペースとして無料提供した。 • 阿蘇の牧野（ぼくや）の野焼きによって生じる延焼防止帯（輪地切り）をMTBで走るサイクルツアーが人気





オロロンラインを象徴する夕陽を堪能する「オロロンライン・サンセット・ミーティング（OSM）」



日程（案）：令和5年8月19日
場所（案）：オロロンラインを象徴する場所
内容（案）：事前登録者は各自のペース・手段で日没までに集合
留萌の食や景観を堪能しながら思い出を共有できる場づくり（例：キャンプ場、キッチンカー、テントサウナ等）
参加者たちの写真集を作ることで思い出を遺す（参考：草千里プロジェクト）

A－10

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：インフラツーリズム・プロジェクト

【目　　的】過疎化・高齢化が進む古丹別地区流雪溝における運用の見直しが進められてている。地域共助による投雪作業の今後の在り方を検討するため、試行的に地域共助による投雪作業を実施した。
【開 催 日】令和5年2月18日（土）15：30～16：30　流雪溝の投雪口掘り起こし作業
令和5年2月19日（日）8：00～10：00　流雪溝の投雪作業













十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway　TOKACHIHEIYA・SANROKU　route

活動名：シーニックカフェスタンプラリー

【概　　要】訪れた人に楽しんでいただきながらルート内のシーニックカフェを巡っていただき、十勝平野・山麓ルートの魅力を知っていただくとともに、各シーニックカフェの利用促進を図ることを目的にルート独自で実施している。
【実施内容】参加施設にスタンプラリー台紙及びスタンプを設置。参加者はラリー参加施設の２カ所以上のスタンプ押印で応募が可能。押印数により景品が抽選で当たる。
【開催期間】令和４年７月３０日（土）～１０月１６日（日）
【主　　催】十勝シーニックバイウェイ　十勝平野・山麓ルート
【参加施設】十勝平野・山麓ルート内シーニックカフェ12カ所
【応募人数】９７名（十勝管内：６５名、十勝管外：１９名、北海道外１３名）

サイズ：見開きA4（観音折り）

（表）



（裏）



A-3

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway　TOKACHIHEIYA・SANROKU　route

活動名：環境美化活動「花壇植栽」

【概　　要】訪れた人にルート内の美しい景観を楽しんでいただくため、おもてなしの気持ちと再訪を促す目的で実施している。
【実施内容】道の駅「あしょろ銀河ホール２１」（足寄町）、豊岡見晴し台駐車公園（上士幌町）、「ひまわりの道」（陸別町）の花植え
【開催期間】令和４年６月～10月
【主　　催】十勝シーニックバイウェイ　十勝平野・山麓ルート
【参加人数】約60名



豊岡見晴し台駐車公園（上士幌町）



道の駅「あしょろ銀河ホール21」周辺
（足寄町）



「ひまわりの道」（陸別町）

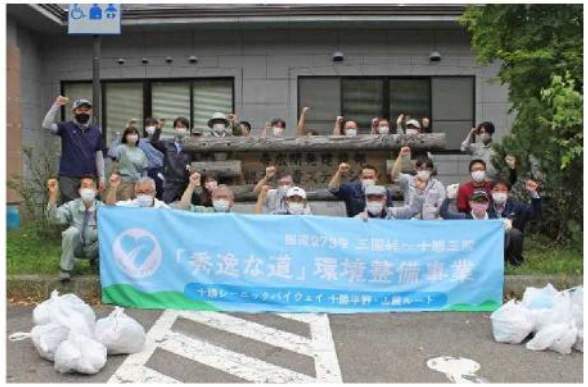
A-4

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway　TOKACHIHEIYA・SANROKU　route

活動名：「秀逸な道」環境整備事業

【概　　要】「秀逸な道」と情報発信拠点の除草・清掃を行うことで、景観の魅力向上と観光客への快適さを提供し、地域の資源として活用できる環境を整えている。
【実施内容】幌加除雪ステーション・水芭蕉駐車場の除草・清掃
【実施日】　令和４年８月３０日（火）
【主　　催】十勝シーニックバイウェイ　十勝平野・山麓ルート
【参加人数】３２名



幌加除雪ステーション①



水芭蕉園駐車場①



水芭蕉園駐車場②

A-5

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway　TOKACHIHEIYA・SANROKU　route

活動名：幌加除雪ステーション情報発信

【概　　要】旧士幌線鉄道遺構が点在する観光地にある除雪ステーションを情報発信拠点として整備し、シーニックバイウェイ、ルート、自治体などのポスター、マップ、パンフレットなど設置。観光客へシーニックバイウェイのＰＲと情報発信を行い、周遊とドライブ観光を促進している。
【実施内容】幌加除雪ステーションでの情報発信
【実施期間】令和４年５月～令和４年11月（冬季間は閉鎖）
【主　　催】十勝シーニックバイウェイ　十勝平野・山麓ルート
【設置物】　自治体・「秀逸な道」ポスター、ルートマップ、自治体パンフレットなど



入口へ展示案内を掲示



自治体ポスターとパンフレット



秀逸な道ポスターと山麓ルートマップなど

十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway　Tokapuchi　Yudaikukan

活動名：ふたりぼっちパスポート事業

【概　　要】形を変えながら今年度で１２年目となる、十勝の施設をお得にめぐるチケット事業。２名以上で利用すると１名無料となるパスポートで、1冊1,400円で販売、最大約３万円以上お得となる。観光施設など、道内約60か所で販売を行い、相互の施設においてPR活動を実施するほか、専用ホームページにて積極的にPRを行った。十勝の魅力ある店舗を募り、お得に十勝を巡ることで魅力を発見して貰うと共に、参加店舗の宣伝効果により、地域活性化を図る事業となっている。
【販売・実施期間】令和４年５月１日（日）～令和4年１１月３０日（水）
【対応施設エリア】十勝シーニックバイウェイエリア
【事業対応施設】上記エリア内のガーデン、グルメ、温泉、アクティビティ、グッズの５２施設（北の屋台２０店舗含む）
【主　　催】十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間
【販売・利用数】１，２３１冊販売、延べ４，７２８名利用



ふたりぼっちパスポート
（チラシ表面）



ふたりぼっちパスポート（表面）



ふたりぼっちパスポート（中面）

Tokapuchi　「良し」と「善し」で大地をつなぐ　十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間

A－2

十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway　Tokapuchi　Yudaikukan

活動名：ライフコンシェルジュ事業

【概　　要】十勝の魅力・生活の楽しみを伝える「ライフコンシェルジュ」（ご当地風土アドバイザー）の育成事業。主なガイド活動として、十勝川温泉にある「シーニックカフェ十勝が丘展望台」、「とかちマルシェ」「静岡県との連携事業の視察対応」「道東ブロック商工会議所 女性会視察研修会」等へのガイド派遣を実施した。また、ライフコンシェルジュの会を3回開催し、活動について意見交換を行った。今後も活動の場を増やすとともに、観光客などにより充実した十勝の情報を提供するため、講習会等の人材育成に力を入れていくこととしている。

【活動期間】令和４年４月～令和４年１２月

【場　　所】十勝管内にて活動を実施

【主　　催】十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間

【活動状況】ライフコンシェルジュ：３４名　ガイド活動実施先は以下のとおり

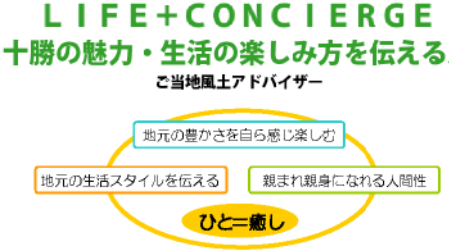
①シーニックカフェ十勝が丘展望台（7/2～9/25の土日祝の雨天・高温を除く13日間）
②2022年静岡県と北海道十勝・帯広の交流・連携事業　十勝が丘展望台視察対応（7/1）
③とかちマルシェ（9/3、4）　④ライフコンシェルジュの会（10/19、12/3、2/15）
⑤令和4年度 道東ブロック商工会議所 女性会視察研修会へのガイド派遣（9/10）



ライフコンシェルジュの会の様子



静岡県と北海道十勝・帯広の交流・連携事業
（十勝が丘展望台視察対応）



ライフコンシェルジュとは

Tokapuchi 「食」と「癒し」で大地をつなぐ 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

A－3

十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway　Tokapuchi　Yudaikukan

活動名：トカプチマップ事業

【概　　要】昨年度に引き続き、エリア内のおすすめドライブルートの紹介や観光ＰＲを含めたマップを作成した。今年度は「十勝のパン」をテーマにルート内のおすすめパンスポットを紹介。引き続き観光拠点を中心に配布を行う。観光客からのマップ需要は高いことから、今後も観光プロモーションと併せて継続する。

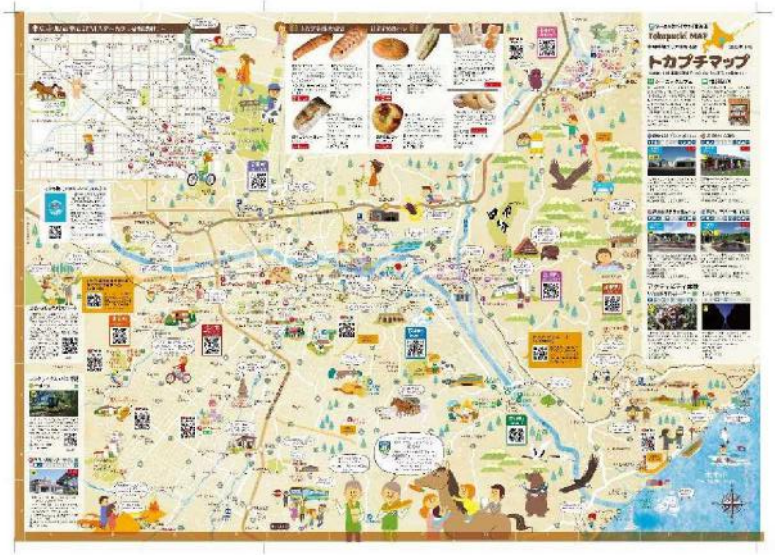
【発　　行】令和４年４月

【主　　催】十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間

【マップ仕様】印刷部数：17,000部　サイズ：A2

配布箇所：ルート団体施設ほかエリア内の観光施設、道の駅、札幌市内など





＜トカプチ雄大空間ルートMAP（トカプチマップ）＞

Tokapuchi 「食」と「癒し」で大地をつなぐ 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

A－4

十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway　Tokapuchi　Yudaikukan

活動名：トカプチ情報ボックス事業

【概　　要】
トカプチ雄大空間エリア内の各情報拠点に設置している「トカプチ情報ボックス」に、ルート内施設の観光パンフレットなどを設置している。
主に観光施設に設置しており、パンフレットの需要も高いことから、今後も実施をしていく。

【実施時期】令和４年４月～令和５年３月
（配送：令和４年６月～１１月）

【設置箇所】１３カ所（加入先20団体）

【配達回数】６回



＜トカプチ情報ボックス／JR帯広駅 とかち観光情報センター・十勝まきばの家＞

十勝シーニックバイウェイ　南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway　MINAMITOKACHI　YUMEKAIDO

活動名：フォトコンテスト　＆　フォトコンテストカレンダー作成　＆　フォトコンテスト巡回作品展

【概　　要】

フォトコンテストの開催及びコンテスト入選作品から作成するフォトコンテストカレンダーの作成及び販売は、候補ルート時から継続して実施している活動である。フォトコンテストは、地域の魅力を発信しエリアに訪問して頂く機会を作るため、平成１８年より実施している活動で今年度で１７年目である。管内だけではなく管外・道外、幅広い地域より多数の応募があり、フォトコンテストの取組が着実に根付いている。また、入賞作品の巡回作品展（６箇所：各２週間程度）を開催した。この活動は、本ルートの景観の素晴らしさを多くの方に知ってもらえることから、継続的に取り組む予定である。

【日　　時】作品募集：令和４年７月１日（金）～９月３０日（金）
カレンダー販売：令和４年11月～令和５年1月

【場　　所】撮影：南十勝夢街道エリア　　販売：南十勝夢街道内商工会及び道の駅、帯広市内など

【主　　催】十勝シーニックバイウェイ　南十勝夢街道

【参加人数】フォトコン応募者数：５３名　応募作品数：１９５点　カレンダー：１，０００部作成



2022フォトコンテスト
募集チラシ



2023年カレンダー
制作・販売



フォトコンテスト審査会 10/6



巡回パネル展（更別村）
７月~10月

十勝シーニックバイウェイ　南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway　MINAMITOKACHI　YUMEKAIDO

活動名：シーニックカフェスタンプラリー

【概　　要】
　ルート内のシーニックカフェを楽しみながらめぐっていただくと共に、訪れた方へ南十勝夢街道の景観の素晴らしさや、ルート内の魅力を知っていただくため、平成26年度からルート独自で実施している。
【実施内容】
　ルート内のシーニックカフェ４施設にラリー台紙およびスタンプを設置し、参加者は４施設全てでスタンプを押印し、カフェ店員に提出することで応募となる。応募者全員に南十勝夢街道フォトコンテストカレンダーを送付。
【開催期間】令和４年7月１６日（土）～9月30日（金）
【参加施設】シーニックカフェ　４施設（道の駅さらべつピポパ、シーニックカフェちゅうるい、晩成温泉、ひろおサンタランド・サンタの家）
【主　　催】十勝シーニックバイウェイ　南十勝夢街道
【応募人数】１０名　（十勝管内：４名、十勝管外：１名、北海道外：５名）



スタンプラリー用紙（表面）



スタンプラリー用紙（裏面）
スタンプ台紙

シーニックカフェ	自治体
道の駅さらべつ 観光と物産の館「ピポパ」	更別村
ちゅうるい （忠類共栄牧場内）	幕別町忠類
原生花園 （大樹町晩成温泉内）	大樹町
広尾 （ひろおサンタランド内）	広尾町

十勝シーニックバイウェイ　南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway　MINAMITOKACHI　YUMEKAIDO

活動名：マップ作成・配布

【概　　要】南十勝夢街道エリアの特徴である「風景・景観」をテーマに、5町村連携の「南十勝よりみち・よりまちマップ」を作成し、配布した。南十勝を広域で紹介することで、ドライブ観光客の周遊を促すことを目的に、各町村の特産品や、南十勝のテーマである「日高山脈の風景」、おすすめの景観スポットなどを紹介した。今後も観光プロモーションと合わせてPRを継続していくこととしている。

【発　　行】令和４年９月

【主　　催】南十勝地域協働型道路マネジメント検討会、南十勝夢街道

【マップ仕様】サイズ　：A2

配布箇所：エリア内5町村の商工会、道の駅や観光施設等の情報拠点など
（一部管外でも配布）



マップ配布の様子

左：道の駅忠類／右：幌加除雪ステーション（北十勝）





＜南十勝よりみち・よりまちマップ＞

札幌シーニックバイウェイ　藻岩山麓・定山渓ルート

SAPPORO Scenic Byway

活動：南区冬の雪あかり

【概　　要】12月上旬から3月下旬において、札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルートにおいて「冬の雪あかり2023」を開催した。「冬の雪あかり2023」は、札幌市南区の各地区において、地域の方々の取り組みにより、スノーキャンドルやアイスキャンドル、イルミネーションなどを点灯するほか、雪だるまや雪像の設置などを行い、幻想的なキャンドルの景色を楽しむ冬のイベントである。訪れる人それぞれに楽しんでもらうよう、各地域で開催を行った。

【開催日時】令和4年12月上旬～令和5年3月下旬

【開催地区】澄川地区、真駒内地区、石山地区、藻岩地区、南沢地区、芸術の森地区、藤野地区、定山渓地区、簾舞地区、藻岩下地区

【協　　力】札幌市南区、札幌市立大学、札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルート





冬の雪あかり2023のチラシ

各地区での雪あかりの様子


真駒内地区


芸術の森地区


澄川地区


石山地区


藻岩地区


藻岩下地区


定山渓地区


藤野地区


南沢地区



簾舞地区

札幌シーニックバイウェイ　藻岩山麓・定山渓ルート

SAPPORO Scenic Byway

活動：2023年度みなみくカレンダー

【概　　要】南区が発行する「2023年度みなみくカレンダー」の中で、札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルートの活動や「秀逸な道」の紹介ページを作成・配布した。カレンダーには、札幌市民のみなさまが撮影した「南区らしさ」が伝わる写真が採用されています。南区の魅力あふれる美しい景色が満載のカレンダーとなっている。カレンダーはA4版、カラー刷り16ページで、2,000部発行。

【日　　時】　令和4年3月下旬～令和5年4月まで

【場　　所】　南区役所1階情報提供コーナー、ルートの関係機関 等

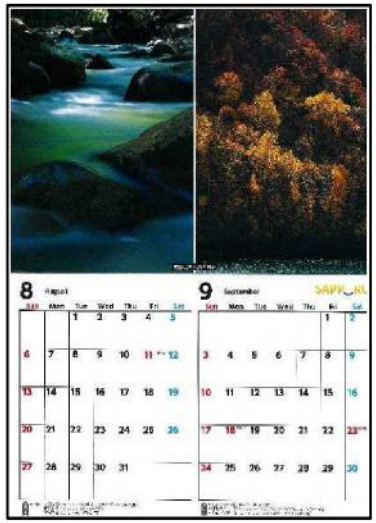
【編集・発行】札幌市南区地域振興課

【制作協力】　札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルート

【発行部数】　2,000部



カレンダーの表紙



カレンダーの内容



カレンダーでルートの活動や秀逸な道を紹介

札幌シーニックバイウェイ　藻岩山麓・定山渓ルート

SAPPORO Scenic Byway

活動：芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会の花植え活動

【概　　要】今年度で第22回目となった芸術の森フラワーロードの花いっぱい運動は、札幌市豊平区から支笏湖に向かう国道４５３号沿いの「札幌芸術の森」の手前の沿道において植栽活動を行っている。町内会の住民や、フラワーロードの会員、行政関係者など約50名が集まり、全長３km区間の道路に沿って、美しく見える配置で花の植込みを行った。植込みと後片付けが終わった後は、参加者はまちづくりセンターでお茶とおにぎりを頂いた。

【日　　時】令和4年5月29日（日）９：00～12：00

【場　　所】国道４５３号沿いの「札幌芸術の森」の手前約３ｋｍ区間

【主　　催】芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会/芸術の森地区連合会

【参加人数】60名





開会の様子





花植え活動の様子





花壇に花を植える様子





活動終了後におにぎりをもらう様子

A－4

札幌シーニックバイウェイ　藻岩山麓・定山渓ルート

SAPPORO Scenic Byway

活動：板割沢拡幅記念植樹区間の景観保全活動

【概　　要】平成28年度から継続して実施している景観保全活動。平成15年に板割沢拡幅事業の記念植樹が行われた区間で樹木の生長により景観を阻害する状態になっていたのを、平成28年に小金湯さくらの森がオープンしたことを契機に、記念植樹区間の道路空間改善について検討を開始。平成28年度から地域住民と道路管理者が協働で草刈りや樹木の間伐・枝払い、ゴミ拾いを実施する景観保全活動を継続している。6月の活動には、みなみの杜高等支援学校の生徒らにも参加頂き、一緒に草刈り作業を実施。10月の活動には、地域と行政協働で草刈りと樹木の間伐・枝払いの作業を実施。地域の児童会館の児童らは、道や環境について学び、その後、樹名板の作成・設置、ゴミ拾いなどを実施した。

【日　　時】１回目：令和4年6月29日（水）、2回目：令和4年10月1日（土）

【場　　所】国道230号 板割拡幅記念植樹環境整備区間（L=0.3km）

【主　　催】国道230号協働型道路マネジメント検討会

【協　　力】簾舞地区まちづくり連合会/札幌開発建設部

【参加人数】１回目（6月）：22人、2回目（10月）：23人



▲ 参加者全員の集合写真（10月）





▲ 春の活動の様子（6月）





▲ 秋の活動の様子（10月）

【実施前】



【実施後】



【実施前】　下草も短く見通しが良い状態



【実施後】　除草後は、見通しがさらに良くなった





▲ 活動参加募集チラシ



▲ 道について学ぶ児童



▲ 環境について学ぶ児童

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：ビューポイントパワーアッププロジェクト①
どうなん追分シーニック清掃活動

【概　　要】 GW道南地域に桜が咲く季節にあわせ、一年で一番エリアの観光客が多い時節、GW前約2週間をシーニック清掃週間（4/15～29）として行っている。COVID-19感染拡大に留意しながら、松前町は「白神岬展望広場駐車場」周辺、江差町は「椴川駐車場」周辺、木古内町は「サラキ岬」周辺、いずれもビューポイントパーキングに登録している箇所にて実施した。また、松前の白神から札前までの「秀逸な道候補区間」にて、月１回清掃活動を行った。

【日　　時】 松前町　令和4年4月16日（土）・　木古内町　令和4年4月23日（土）
江差町　令和4年4月17日（日）
松前町　　令和4年6月26日・8月28日・9月17日・10月29日・11月19日実施

【場　　所】 松前町白神岬展望広場駐車場周辺（R228沿い）・木古内町サラキ岬周辺（R228沿い）
江差町椴川駐車場周辺（R228沿い）
松前町秀逸な道候補区間（白神～札前）（R228沿い）

【実施団体】松前観光協会ほか・江差観光コンベンション協会ほか・木古内町観光協会ほか
いいね松前ネットワーク

【参加人数】 ≪松前（2022年30名・2021年50名・2019年30名）・江差（2022年35名・2021年20名・2019年30名）
木古内（2022年50名・2019年100名）≫ **松前町秀逸な道候補区間＝実施4名参加**


松前町　白神展望広場駐車場


江差町　椴川駐車場


木古内町　サラキ岬


松前町　秀逸な道候補区間

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：ビューポイントパワーアッププロジェクト②
木古内町サラキ岬ほかR228沿い植栽活動

【概　　要】国道228号沿い木古内町サラキ岬では咸臨丸の史実の基づく観光空間づくりを行っており、チューリップの植栽を行っている。５月に満開を迎えるために7月には球根の掘起し、10月には球根植えを行っている。福島町青函トンネル記念館前植栽はシーニック活動として4年目。COVID-19により中止が多い中、野外の植栽関係については実施できた。

【日　　時】チューリップフェア 令和4年5月1日～5日（開催中止：チューリップ園のみ開放）
球根掘起し作業　令和4年7月23日（土）・球根植え作業　令和4年10月22日（土）
福島町植栽活動　令和4年6月22日（水）

【場　　所】木古内町サラキ岬 ・　福島町青函トンネル記念館前

【主　　催】咸臨丸とサラキ岬に夢みる会・木古内町観光協会　／　福島町観光協会

【2022年参加人数】チューリップフェア　不明（カウントなし）
球根掘起し 100名 ・　球根植え100名 ・　福島町植栽 25名

≪球根堀起し（2021年100名・2020年100名・2019年70名）・球根植え（2021年120名・2020年120名・2019年100名）
福島町植栽（2021年35名・2020年25名・2019年25名）≫



チューリップフェア５月



球根掘起し作業　７月



球根植え作業　１０月



福島町植栽　６月

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：どうなん追分シーニックdeナイトプロジェクト
どうなん追分シーニックdeナイト

【概　　要】当ルートは「キャンドルの灯りが繋ぐ道」をテーマに、各地域のイベントと併催し沿道景観づくりを演出している。今年度はCOVID-19によりイベントが開催中止となったことから道の灯りキャンドル活動については開催中止。みそぎ祭りのみ小規模開催となった。

■木古内チューリップフェア2022どうなん追分シーニックdeナイト　【日時】令和4年５月　開催中止
【場所】木古内町サラキ岬　【主催】木古内町観光協会他

■江差ガイアナイト2022　【日時】令和４年8月開催中止【場所】姥神大神宮前【主催】歴まち商店街

■どうなん追分シーニックdeナイト道の駅連携実施　【日時】令和４年12月クリスマス頃　開催中止
【場所】道の駅あっさぶ・福島町横綱記念館（道の駅隣）・道の駅みそぎの郷きこないほか

■江差年越しキャンドル　【日時】令和４年12月31日開催中止【場所】姥神大神宮前

■木古内町みそぎキャンドル【日時】令和５年１月14日（土）**小規模開催**　寒中みそぎあかりPJとして開催【場所】佐女川神社・木古内駅前周辺　【主催】寒中みそぎ祭り実行委員会他



木古内町チューリップフェア
どうなん追分シーニックdeナイト



道の駅連携シーニックdeナイト
（木古内町）



木古内町みそぎキャンドル

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：どうなんフットパスロード・歴史の道掘り起しプロジェクト
殿様街道探訪ウォーク

【概　　要】 継続事業として春と秋の年2回行っている殿様街道探訪ウォークは、今年度春と秋、関係者のみの小規模開催にて実施した。活動の一環として、昨年7月に伊能忠敬北海道測量開始記念公園にて、歴史勉強会とシーニックの清掃活動を行ったが今年度以降は３年毎を目安として実施を予定している。また、不定期ではあるが近隣の小中学生を対象とした歴史勉強会を昨年度に引続き開催している。

【日　　時】春：令和4年5月3日（火・祝）・　秋：令和4年10月22日（土）
（参加者　春　30名　　秋　30名）

【場　　所】福島町千軒岳・伊能忠敬北海道測量記念公園

【主　　催】福島町千軒地域活性化実行委員会・福島町観光協会・福島町教育委員会・福島町



殿様街道探訪ウォーク活動（春）



殿様街道探訪ウォーク活動（秋）



歴史勉強会　随時開催

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route　活動名：どうなんフットパスロードプロジェクト・歴史の道掘り起しプロジェクト
おもてなしガイドプロジェクト　どうなんサイクルツーリズム推進事業

【概　　要】　2022年度の歴史・文化を活かした南北海道ｻｲｸﾙﾂｰﾘｽﾞﾑ推進事業は①サイクルガイド養成講座②サイクリングツアー③散走④プロモーション⑤関係事業支援⑥検討会⑦環境整備の推進⑧資源調査・情報更新の8項目について実施した。①については2021年8月予定していたものを５月に実施した。COVID-19により規模を縮小したが概ね計画どおり実施した。

【日　　時】①5/14～15②10/1～3③8/9～10・8/19～21・8/11ほか④通年⑤ガイド実践8/2・9/9～10・9/16ほか⑥6/28・9/13・12/9・3/17⑦通年⑧通年

【場　　所】①江差（座学一部北斗市）　②木古内～松前～江差～木古内　③函館散走から青の洞窟クルーズコース・きじひき散走ほか　④ツアープロモーション・web更新　⑤木古内～松前～江差・南北海道地域　⑥総会函館・第一回役員会（ﾘﾓｰﾄ併催）・臨時総会函館・第二回役員会函館　⑦南北海道地域　⑧南北海道地域

【参加人数】①13名　②8名 ③4名・6名・4名 ④-　⑤4名・8名・10名　⑥35名・17名・50名18名　⑦-　⑧-


ガイド養成講座


サイクルツアー実施


散走　基幹ルート


ガイド支援

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：おもてなしガイドプロジェクト、どうなんフットパスロードプロジェクト
歴史の道掘り起しプロジェクト、どうなん・追分シーニックバイウェイルート全体

【概　　要】当ルートでは毎年ルート全体での啓発事業として総会や全体会議の日程に合わせて学習会を行ってきた。昨年、令和元年にスイスモビリティ研究会・米国コロラド州の視察、台湾からのサイクルツアーが展開されそのインバウンドの今後の対応を兼ねた報告会等を予定していたが継続的な取組として行ってきた学習会が実施できなかった。今年度は、第21回学習会をWEBで開催し、昨年予定していたインバウンドの今後の対応を兼ねた報告会を実施。第22回は対面で、旧道を活かした取組。殿様探訪ウォークの事例と松前の旧道について事業の進展について講義をして頂いた。第23回は地域の歴史の再認識ということで江差町の歴史について講演頂いた。

■第23回学習会　開陽丸の歴史について　　江差町教育委員会学芸員　宮原　浩氏

【日時】令和4年6月17日（金）

【会議形式】江差町開陽丸青少年センター　会議室



第２３回学習会①



第２３回学習会②



第２３回学習会③

C－1

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：教育体験観光呼込みプロジェクト
ビューポイントパワーアッププロジェクト・いにしえ街道のとりくみ他

【概　　要】江差町いにしえ街道では景観と文化を活かした「花嫁行列」や「江差北前のひな語り」等体験型観光・イベントづくりを行っている。多様な試みを行っている中、着物を着付けて街歩きや職人技術を活かした木工体験等、街の個性を活かしたとりくみの広がりを見せている。（開催中止）また、福島町千軒そば花観賞会についても芋掘り体験などができ、国の重要無形文化財指定となった松前神楽をそば花畑で観賞でき人気が増している。（小規模開催）

■江差いにしえ街道花嫁行列【日時】令和4年5月3日（火・祝）開催中止【場所】江差いにしえ街道
【主催】歴まち商店街協同組合ほか

■江差北前のひな語り【日時】令和5年2月1日～3月12日　【場所】江差いにしえ街道・江差一円
【主催】歴まち商店街協同組合ほか

■千軒そば花観賞会　【日時】令和4年8月28日（日）　小規模開催（松前神楽奏上のみ）
【場所】福島町千軒　【主催】福島町千軒地域活性化実行委員会　【参加者】40名



江差いにしえ街道花嫁行列



江差北前のひな語り



千軒そば花観賞会

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：地域の食と産業を楽しむ体験観光づくり・各地イベントの連携
おもてなしガイドプロジェクト・どうなんの食北のどんぶりプロジェクト

【概　　要】ルートでは活動地域の食のイベントとの連携を図っている。江差町のいにしえバル街にシーニックも後援団体としてPR等で支援し、ルート地域のお店にも参加協力頂き、イベントとして定着してきたところだったが、COVID-19によりバル街は開催中止。いにしえ市場として縮小開催を今年も予定していたがこちらも開催中止となってしまった。

■江差町いにしえバル街

【日時】令和4年9月中旬　開催中止【場所】江差町一円

【主催】江差いにしえバル街実行委員会

■江差いにしえ市場

【日時】令和4年9月中旬　開催中止　※バル街中止による対応事業だったがこちらも今年は直前で中止

【場所】姥神大神宮横いにしえ広場ほか　【参加店舗】20店



江差いにしえバル街（開催中止）



江差いにしえ市場（開催中止）



江差いにしえ市場2020年の様子

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：情報共有・情報受発信
どうなん・追分シーニックバイウェイルート全体

【概　　要】　情報発信の重要性が高まる中で令和２年度更新したHPを活用し、FaceBook等SNSを情報発信を継続的に行っている。また、どうなんサイクル事業で「チャリ旅みなみ北海道」のHPは日本語版・英語版で発信。少しづつであるがフォロワーが増えている。今年度はwebの保守会社を変更し更新や新設等web情報の掲載について頻度を高めていくことを始めたことから、どうなん・追分SBWRのフォロワーは今年1年間で321名増加という効果があった。今後はYouTubeやLINEの使用も検討していく予定。

【どうなん・追分シーニックバイウェイルートホームページ】
https://www.donan-oiwake-sbw.com/

【どうなん・追分シーニックバイウェイルートFaceBook（フォロワー数1115名）】
https://www.facebook.com/どうなん追分シーニックバイウェイルート-269335286603575/

【チャリ旅みなみ北海道　ホームページ&FaceBook（フォロワー数686名）】
https://cycletourism-southhokkaido.org/　https://cycletourism-southhokkaido.org/en/
https://www.facebook.com/cycletourism.southhokkaido/



どうなん追分SBW HP





チャリ旅みなみ北海道 HP英語版・FB

天塩川シーニックバイウェイ

Teshio River Scenic Byway

活動名：TEPPEN－RIDE 5thの実施
（きた北海道エコ・モビリティ事業の推進）

【概　　要】　広域連携によるサイクリングイベント「TEPPEN-RIDE」は、天塩川ルートと宗谷ルートを結ぶ約３１５kmのコースを、3日間走り続けるイベントとして過年度までに、4回開催（＊年1回）し、様々な団体・企業等との連携を広げながら、継続的に実施してきた。おもてなし溢れる企画内容に、年々参加者も増え、リピーターによる期待も高く、また、地域の魅力を伝えながら安全に案内できる地域サポートライダーも増えてきた。

本年度は、これまでの実施内容の見直し等を行い、準備を進め、5回目の記念開催となった。また北海道サイクリング協会との連携を試み、北海道の南・えりも岬から旭川までの距離を走る「とんがりロードライド」から、旭川から宗谷岬までを繋げる<北海道縦断ライド>の初開催となった。両イベントで相互に参加募集を行い、地元の旅行会社からツアー商品として販売、縦走すると約700kmあるが、３名が縦走を達成した。

次年度も工夫した内容での継続実施を目指す。

【日時】　TEPPEN-RIDE　9月22日（木）～24日（土）
とんがりライド　9月18日～21日

【主催】　天塩川SBW・宗谷SBW

【共催】　きた北海道サイクルツーリズム連絡会議、
（一社）シーニックバイウェイ支援センター



とんがりライドと繋がる
縦断ライドのコースマップ



「北海道縦断」のタスキを
とんがりガイドから
TEPPENガイドへ。



途中でパンクしても超速で
修理終了。自転車屋さんが
メカニックサポートで帯同
しているのも、TEPPEN
の魅力の一つ。



開発局、旭川市、振興局の方もきてくださり、にぎやかにスタート。とんがりライドの参加者の方々も、駆けつけてくださいました。





「TEPPEN-RIDE 2022　5th Anniversary」
開催の募集チラシ。右下に縦断ライドをお知らせ

T－2

天塩川シーニックバイウェイ

Teshio River Scenic Byway

活動名：各地イベントでのルートPR
（ルート内連携による情報発信）

【概　　要】　幌加内町は、日本一のそば生産量を誇り、そば畑の風景を観光資源として、様々な取組みが行われている。町の一大イベントである「新そば祭り」には、毎年、2日間の開催で道内外から約4万人が訪れるほど、道北地域をみても他に類を見ないほどの集客力のあるイベントである。また、「そばの花ビューポイント」（国道275号他）は『秀逸な道』に認定されており、官民連携により沿道景観向上に向けた地域活動が積極的に行われている。

　そこで、天塩川シーニックバイウェイの地域資源や活動とあわせて、『秀逸な道』の紹介、シーニックバイウェイ全体の周知徹底及びルート活動への理解を深めることを目的に、新そば祭りの会場でPR展示を実施した。多くの方に立ち寄っていただき、今後の取組みの参考となる意見等をいただけた。

　次年度以降もイベント等の開催にあわせて情報発信を行っていきたい。

■内容
- 『秀逸な道』紹介パネルとパンフレット
- 道北フォトコンテスト優秀作品　パネル展
- 天塩川シーニックバイウェイのパンフレット
- TEPPEN-RIDE参加募集　　など

【実　　施】２０２２年9月3日（土）・4日（日）　９：００～１５：３０
【場　　所】幌加内町　新そば祭り２０２２　幌加内そばパネル展会場







知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイ

Far East Hokkaido Scenic Byway

活動名：峯浜パーキング剪定・清掃活動
（知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイルート運営代表者会議）

【概　　要】羅臼町峯浜町にあるビューポイントパーキング（国道335号）は、知床連山や北方領土、根室海峡を臨むことができる駐車帯である。令和3年度に実施した景観調査において、植栽の繁茂によりパーキングの視認性が悪く、ゴミをポイ捨てしやすい環境であると考えたことから、景観改善方法を検討し、剪定・清掃活動を行うこととした。令和4年度に現地での詳細確認や道路管理や造園業者に協力・レクチャーいただき、植栽の剪定時期や方法についての検討した上で、令和4年10月に剪定・清掃活動を実施した。剪定作業は、少しずつ剪定し、整えていく必要があることから、継続して活動を実施する予定である。

【日　　時】令和4年10月25日

【場　　所】峯浜パーキング（羅臼町）

【主　　催】知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイルート運営代表者会議

【参加人数】14名



剪定作業の様子



剪定作業後の植栽の状況



集合写真（知床連山、根室海峡）

知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイ

Far East Hokkaido Scenic Byway

活動名：ルートHP、SNSでの情報発信
（知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイルート運営代表者会議）

【概　　要】知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイでは、HPやSNSにより、地域の情報や活動についての情報発信を随時行っている。また、令和4年12月22日のルート指定されたことを受け、当ルートのエリアに係る行政にも協力いただき、各HPにバナーを貼っていただいた。
【日　　時】通年
【主　　催】知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイルート運営代表者会議



HPによるイベント等の情報発信



Facebookによる情報発信
（主に地域の観光情報のシェア）



HPのバナー



バナー掲載例
（釧路町）



バナー掲載例
（釧路開発建設部）

知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイ

Far East Hokkaido Scenic Byway

活動名：サイクルトレインモニター調査視察
（知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイルート運営代表者会議）

【概　　要】地域の新たな観光商品開発の事例調査として、釧網線で実施されたサイクルトレインモニター調査に参加し、視察を行った。サイクルトレインモニター調査は、釧網本線維持活性化実行委員会が主催して行われており、当ルートエリアの釧路町を通過する区間において調査が実施された。また、当ルートには、花咲線があり、利用促進のためのセミナー開催等活動を行っていることから、サイクルツーリズムによる利用促進の可能性を検討する上での基礎資料とする。

【日　　時】令和4年10月30日

【主　　催】知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイルート運営代表者会議

【参加人数】3名（全体47名）



東釧路駅（出発駅）



サイクルトレイン車内の様子



摩周駅（サイクリング開始場所）